

札幌都心アクセス道路検討会（第6回）

議事概要

1. 日 時 令和元年10月30日（水）15時00分～16時00分
2. 場 所 TKP 札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム 2B
3. 出席者
 - 札幌市 米田都市計画担当局長
 - 北海道 小林建設部長（代理：白石土木局長）
 - 北海道開発局 平野建設部長
4. 議 事
 - （1）計画段階評価（地方小委員会）の状況報告
 - （2）市民との情報共有の取組について
親水緑地空間の形成について

【 主な発言 】

- ・計画段階評価では札幌市要望等を踏まえ、車線数、現道との接続位置、ダイレクタアクセスランプの詳細検討や一部河川の暗渠化等により重要施設や周辺への影響を回避、低減する詳細検討を実施。
- ・今後、対策案の詳細検討結果を市民へ情報提供するにあたり、詳細検討により何が変わり、各案の構造がどのような特徴をもっているか等を市民にわかりやすく説明し、理解していただくことが重要であり、オープンハウス形式（職員常駐型のパネル展）で行うのが望ましい。
- ・昨年度実施した地域意見聴取やオープンハウスでは、沿線住民等へのより丁寧な情報提供が求められており、次回の市民への情報提供は、国と札幌市の共同により実施することとし、資料内容の充実を図るとともに、会場については、北区、東区、都心部等、沿線地域を中心に開催に向けた調整を実施。
- ・市民への情報提供はできる限り十分な案内・周知を行った上で、速やかに実施するのが望ましい。
- ・創成川通は札幌市の各種計画等において、つながりの軸に位置付けられ、特に、札幌駅周辺では創成川のみどりや水にも配慮しながら、みどり豊かなネットワークの形成を目指すこととしており、今後、まちづくりの将来像についても議論していくことが重要。

以上